

令和2年度

日中サービス支援型共同生活援助事業実施状況報告シート



# 令和2年度

## 日中サービス支援型共同生活援助 事業実施状況報告シート

※令和2年4月から令和3年3月まで

記入者氏名(管理者)	三田 大輔
------------	-------

事業所名	ケアホームかん月えん		法人名	株式会社ピッチ&パッチ		
事業者所在地	釧路市春採4-2-16		共同生活援助 定員	17人	短期入所 定員	1人
職員配置 (常勤換算)	管理者	サビ管	世話人	生活支援員	夜間体制	
	1人 (0.9人)	1人 (0.1人)	7人 (5.9人)	7人 (6.0人)	2人 (2.0人)	

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
1. 常時の支援体制について		
① 日中活動サービス等を利用できない障がい者への日中支援は、利用者の意向にそっているか	○日中活動サービスの未利用人数： 0人 ※別紙1②転記 日中の支援として食事の提供、入浴、排泄、食事、移動の介助の他、個別の意向を聞き取り簡単な運動の支援、好きな音楽DVDやドラマを見る為の支援、お話が好きな方とはテレビを見ながら興味のある話題の提供、貼絵作業の支援など行った。	
② 日中活動サービス等の利用が制限されていないか	○日中活動サービスの利用人数： 17人 ※別紙1①転記 日頃利用者とのコミュニケーションを図る中でサービスの利用意向に変更がないか聞き取りをしている。変更の意向がある時には相談支援事業所への連絡や希望の事業所の情報提供や見学などの支援を行いたいと考えている。	
③ 夜間の支援体制が確保されているか	支援内容等 夜勤者をユニット毎に1名配置し、2時間おきに巡回を行うほかコールなどへの対応を行っている。(体位交換やオムツ交換が必要な場合は必要に応じ2,3時間おきに行っている)緊急時には看護師との連絡体制を確保しており、医療との連携をしている。	
2. 短期入所について		
地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊のニーズに対応しているか	○短期入所の利用実人数： 8人/年度 ○短期入所の延べ稼働数： 105床/年度 ○短期入所の実人数当たりの平均利用日数： 13.1日/人 緊急受入事例 支援者である家族が入院することになり、ひとりで過ごすことが難しいため緊急の利用になりました。入院期間が1か月以上で、すでに当ホームのショートステイの先約があったために連続の利用ではなく、いくつかのショートステイ事業所を利用されています。	
3. 特定相談支援事業所等との連携について		
① 特定相談支援事業を行う事業所は他事業者であるか	○同事業者の特定相談支援利用者数： 8人 ※別紙1③転記 ○他事業者の特定相談支援利用者数： 9人 ※別紙1④転記	
② 特定相談支援事業所等と緊密な連携を図っているか	連携方法 担当者会議や利用者の状態に変化があった時など必要に応じて相談支援専門員に連絡を取っており、日常の様子も定期的に報告している。	

事業所名	ケアホームかん月えん
------	------------

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
<b>4. 支援の実施について</b>		
① 利用者の家族や地域住民との交流の機会が確保されているか	<p>○家族との交流機会： 1人に付き 年5回程度実施</p> <p>○地域住民との交流機会： 年間0回程度実施</p> <p>交流内容等            コロナウイルス感染予防の為家族との面会、外出は制限させていただき短時間の面会や電話での対応を行った。地域の方との交流は控えていただいたが、散歩などで外で会った際には挨拶を交わしている。</p>	
② 利用者が充実した地域生活を送るために、外出や余暇活動等の支援に努めているか	<p>○全体のレクリエーション： 年間12回程度実施</p> <p>○個別のレクリエーション： 1人に付き 年間4回程度実施</p> <p>支援内容等            コロナウイルス感染予防の為外出を控えており、ホーム内で出来るレクリエーションを中心に支援した。誕生会、キッチンカーの手配、ホームの前の駐車場を使つての屋外での焼肉、カラオケ、ビンゴ大会、ミニ運動会、バイキング形式での食事、個別の希望を聞いてテイクアウトで食事を用意などの支援をした。</p>	
③ 研修等により、支援の質の確保に努めているか	<p>○実施した研修等の例</p> <p>① 虐待防止研修 R02.11.16 実施 14名 参加            講師： 三田 大輔 (ケアホームかん月えん管理者)            内容： 身体拘束についての確認、不適切行為の確認や、ホームで行っている支援について不適切行為に当たる物がないか、今後どのように支援すればよいか話し合った。セルフチェックシートの記入を行っている。</p> <p>② 感染予防対策研修 R03.11.08 実施 14名参加            講師： 三田 大輔 (ケアホームかん月えん管理者)            内容： 釧路総合振興からの案内に添付されていた動画を視聴した。動画視聴後に必要と思われる物や施設内で起きた場合の対応について話し合った。</p> <p>研修後の取組            現在の対応に問題がないか利用者に嫌な思いをさせていないか日々意識して支援を行うようになり、会議だけでなく複数の職員で話し合う機会が増えました。②については足りない用具を発注し用意しており、当法人の管理者、看護師が参加し対策会議を行いました。</p>	
<b>5. その他</b>		
特別に記載することがあればご記入ください		
<b>6. 自立支援協議会からの要望、助言に対する取り組み</b>		
自立支援協議会からの要望、助言に誠実に取り組んでいるか	取り組み方法、取り組み結果については、別紙2のとおり	

# 別紙1 利用者の状況

事業所名 ケアホームかん月えん

令和3年3月31日 現在

No.	性別	年代	支給 決定 市町村	障害種別・等級			障害 支援 区分	車椅子 利用	特別 な 対応	対応の詳細、 頻度等	利用中の日中 活動サービス	月平均 利用日数	特定相談支援事業所名	
				身体手帳	精神 手帳	療育 手帳					事業所名			
1	女	70代	釧路市		2級		区分5			生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	あいけあ	
2	女	70代	その他	2種 4級		B	区分6	有	有	浣腸 2回/月	生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	あいけあ
3	女	60代	釧路市		2級		区分6				生活介護	20日/月	生活介護事業所いっかい	ハート釧路
4	女	60代	釧路市		1級		区分6				生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	ハート釧路
5	男	60代	釧路市	1種 1級			区分4				生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	ソラ
6	男	60代	その他	1種 1級		B	区分5	有			生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	ウルカス
7	女	50代	その他		1級		区分5		有	浣腸 2回/週	生活介護	19日/月	生活介護事業所いっかい	あいけあ
8	女	50代	釧路市	1種 2級			区分6	有			生活介護	22日/月	生活介護事業所レンリソウ	ウルカス
9	女	50代	釧路市	1種 1級			区分5	有	有	尿道カテーテル 交換 1回/月	生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	ウルカス
10	男	50代	釧路市	1種 1級	1級		区分6	有	有	リウマチ治療薬 皮下注射 2回/月	生活介護	17日/月	生活介護事業所レンリソウ	あいけあ
11	男	50代	釧路市	1種 1級		B	区分6	有	有	膀胱洗浄 3回/週	生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	あいけあ
12	男	50代	その他	1種 1級	1級		区分6				生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	ウルカス
13	男	50代	釧路市				区分4				生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	ウルカス
14	女	40代	その他	1種 1級			区分6	有	有	浣腸 1回/週	生活介護	20日/月	生活介護事業所いっかい	ウルカス
15	男	40代	釧路市		1級		区分4				生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	ウルカス
16	男	40代	釧路市		1級		区分4				生活介護	22日/月	生活介護事業所いっかい	あいけあ
17	男	20代	その他	1種 1級		A	区分6				生活介護	18日/月	生活介護事業所いっかい	ウルカス
18														
19														
20														
(特記事項)				NO13.手帳なし(精神)						①日中サービス利用者 計17人		③同事業者 計8人		
										②日中サービス未利用者 計0人		④他事業者 計9人		

## 別紙2 自立支援協議会意見への取り組み状況

事業所名	ケアホームかん月えん
【前年度の協議会の意見】	【取り組み方法・取り組み結果】 ※事業所記入欄
1. 常時の支援体制について	
<p>【要望】日中サービス支援型グループホームですが、ほとんどの方が日中活動サービスを利用されており、且つ同法人の生活介護を利用しているようです。前回に引き続き、①利用契約が本人主体で選択されること、②同法人の生活介護以外のサービスも本人の意向で選択できることに留意して下さい。</p>	<p>個別支援計画の更新時にご本人やご家族から意向を聞き取っており、日常の支援する中やご家族様の来所時にも意向の確認はしています。他のサービス利用についての希望はありませんでしたが、希望のある方がいる場合には相談支援事業所とも連携して、興味のあるサービスについての情報の提供や見学など出来るよう支援を行い、本人の意向でサービスを選択出来る事に留意していきます。</p>
2. 短期入所について	
<p>【要望】緊急時の受け入れ事例はなかったようですが、そのような事例があった際には、日中サービス支援型グループホームに短期入所が併設されている趣旨を鑑み、受け入れを検討されるよう要望します。</p>	<p>令和2年度は一件の緊急受け入れ事例でしたが、依頼があった際には受け入れが出来るよう準備し、検討していきたいと考えています。</p>
3. 特定相談支援事業所等との連携について	
なし	
4. 支援の実施について	
<p>【助言】虐待防止研修については、外部講師による研修が必要ではないでしょうか。</p> <p>【要望】虐待防止研修を行うだけではなく、研修後の施設内の取り組みに留意してください。</p> <p>【助言】障がい特性を理解し適切な支援を行うための知識や技術の習得についての研修をされてはどうか。</p>	<p>コロナウィルス感染予防の為令和2年度は外部講師を呼ぶことは出来ませんでした。令和3年度以降は外部講師による虐待防止研修を取り入れたいと考えております。ホーム内での虐待防止研修後はホームでの不適切な行為や言葉遣いなどがないか、毎月の会議でも話し合い、どのように支援したらよいか改善を図っており、日々の業務の中でも気になった時に複数の職員で話し合う様になっています。知識や技術の習得につきましては不足している部分も多々ありますのでコロナ禍で研修会場には足を運びにくいところもありますがオンラインなどの研修も参加していきたいと考えています。</p>
5. その他	
なし	

# 令和2年度

## 日中サービス支援型共同生活援助 事業実施状況報告シート

※令和2年4月から令和3年3月まで

記入者氏名(管理者)	宮澤 友哉
------------	-------

事業所名	ケアホームOK		法人名	株式会社ピッチ&パッチ		
事業者所在地	釧路市興津1丁目1-16		共同生活援助 定員	9人	短期入所 定員	1人
職員配置 (常勤換算)	管理者	サビ管	世話人	生活支援員	夜間体制	
	1人 (1.0人)	1人 (1.0人)	4人 (3.4人)	3人 (2.5人)	1人 (1.0人)	

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
1. 常時の支援体制について		
① 日中活動サービス等を利用できない障がい者への日中支援は、利用者の意向にそっているか	○日中活動サービスの未利用人数： 0人 ※別紙1②転記 支援内容等 全ての方が生活介護を利用されているので毎日ホームで過ごす方はいなく、生活介護がお休みの日には各個人の趣味の支援、共有スペースにて音楽鑑賞やカラオケ、職員や他利用者様とオセロやトランプなど出来るだけ意向にそえるようお手伝いをしています。中にはお話を楽しみにしている方もいらっしゃるので職員がお話し相手になり談話されている方もいらっしゃいます。	
② 日中活動サービス等の利用が制限されていないか	○日中活動サービスの利用人数： 9人 ※別紙1①転記 事業所の方針 事業所理念でもある毎日楽しく有意義に過ごすという理念を基に実行できる範囲で利用者様の意向、考えを尊重し支援しております。急遽生活介護がお休みになった場合も各個人の意向にそった支援をしています。	
③ 夜間の支援体制が確保されているか	支援内容等 夜勤者を1名配置し3時間おきの巡回、コール対応しているトイレに起き歩行が不安な方には転倒防止のため付き添いや見守りをしています。緊急時は看護師との連絡体制も確保、医療機関との連携もしています。	
2. 短期入所について		
地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊のニーズに対応しているか	○短期入所の利用実人数： 6人/年度 ○短期入所の延べ稼働数： 124床/年度 ○短期入所の実人数当たりの平均利用日数： 20.7日/人 緊急受入事例 令和2年11月1日～11月6日、11月8日～11月13日、11月15日～11月21日、11月23日～11月25日の間、自宅で2人暮らしの方で同居されているご家族様(母親)が入院、手術をすることになり急遽ショートステイを一時的に利用されました。	
3. 特定相談支援事業所等との連携について		
① 特定相談支援事業を行う事業所は他事業者であるか	○同事業者の特定相談支援利用者数： 5人 ※別紙1③転記 ○他事業者の特定相談支援利用者数： 4人 ※別紙1④転記	
② 特定相談支援事業所等と緊密な連携を図っているか	連携方法 特定相談支援事業所の担当者と利用者様の定期的な面会(コロナウィルス感染予防として感染状況を考慮し短時間の面会、職員への聞き取りを行っている)を実施しております。個別支援のモニタリングを月2回の運営会議内で実施し相談支援員へ報告しています。	

事業所名	ケアホームOK
------	---------

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
4. 支援の実施について		
① 利用者の家族や地域住民との交流の機会が確保されているか	<p>○家族との交流機会： 1人に付き 年3回程度実施</p> <p>○地域住民との交流機会： 年間0回程度実施</p> <p>交流内容等            コロナ禍ということもあり施設内での面会は控えていただき感染予防をし施設出入口で短時間での面会、ご希望があればオンライン面会にも対応しています。感染対策で外部の人とは接触を控えているため今年度は近隣の住民の方との交流はなく。生活介護へ送迎時近隣の方が通った際など挨拶をされる程度のコミュニケーションはとられています。</p>	
② 利用者が充実した地域生活を送るために、外出や余暇活動等の支援に努めているか	<p>○全体のレクリエーション： 年間6回程度実施</p> <p>○個別のレクリエーション： 1人に付き 年間4回程度実施</p> <p>支援内容等            室内で出来るレクを重点に実施、お菓子作りや出張キッチンカーを手配し食事、カラオケ大会、バイキング式夕食会、クリスマス会など室内でも楽しんでいただけるよう実施しました。個別では外部の人と接触がないよう少人数ごとにドライブを実施、途中コンビニ等で職員が希望の飲み物やおやつを購入し車内で召し上がっていただき少しでも外の空気を吸ってもらい気分転換を図るよう実施しました。</p>	
③ 研修等により、支援の質の確保に努めているか	<p>○実施した研修等の例</p> <p>① 虐待防止権利擁護研修 R02.11.12 実施 7名参加            講師： 宮澤 友哉 (ケアホームok管理者)            内容： 釧路総合振興から虐待防止権利擁護に関する動画視聴の案内に添付されていた動画資料を閲覧し動画の事例に対する検討、当施設でも起こりえる事例としての話し合い、対応、対策等の意見交換を行なった。</p> <p>② 感染予防対策研修 R02.10.20 実施 7名参加            講師： 宮澤 友哉 (ケアホームok管理者)            内容： 釧路総合振興から感染防止来策の通達、案内に添付されていた動画を視聴。当施設で起こった場合を想定しての取りまとめ、対応等を話し合いを行なった。</p> <p>研修後の取組            利用者への言葉使いをはじめ、一人で対応が困難な場合などは必ず他の職員を呼び虐待に発展しない環境にするよう心掛けています。感染予防の防護具の在庫の確認、着脱など取り扱い、当社各事業所の代表にて対策会議を行ない職員へマニュアルを渡しています。</p>	
5. その他		
特別に記載することがあればご記入ください		
6. 自立支援協議会からの要望、助言に対する取り組み		
自立支援協議会からの要望、助言に誠実に取り組んでいるか	取り組み方法、取り組み結果については、別紙2のとおり	

# 別紙1 利用者の状況

事業所名 ケアホームOK

令和3年3月31日 現在

No.	性別	年代	支 給 決 定 市 町 村	障害種別・等級			障害 支 援 区 分	車 椅 子 利 用	特 別 な 対 応	対応の詳細、 頻度等	利用中の日中 活動サービス	月平均 利用日数	特定相談支援事業所名
				身体手帳	精神 手帳	療育 手帳					事業所名		
1	女	60代	釧路市		2級		区分5			生活介護 レンリソウ	21日/月	ウルカス	
2	男	60代	釧路市		1級		区分6	有		生活介護 いっかい	22日/月	ウルカス	
3	男	50代	釧路市				区分4			生活介護 いっかい	22日/月	ウルカス	
4	男	50代	その他		1級		区分4			生活介護 いっかい	22日/月	ウルカス	
5	女	50代	釧路市	2種 3級	2級		区分5	有	有	膀胱留置カ テーテル	生活介護 いっかい	22日/月	ハート釧路
6	女	50代	釧路市		2級		区分4			生活介護 いっかい	21日/月	ハート釧路	
7	男	40代	釧路市		2級		区分5			生活介護 レンリソウ	22日/月	りりーふ	
8	女	40代	釧路市			B	区分4			生活介護 いっかい	22日/月	つばさ	
9	男	20代	釧路市	1種 1級			区分6	有		生活介護 レンリソウ	21日/月	ウルカス	
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
(特記事項)				No3. 手帳なし(精神)						①日中サービ ス利用者	計9人	③同事業者	計5人
										②日中サービ ス未利用者	計0人	④他事業者	計4人

## 別紙2 自立支援協議会意見への取り組み状況

事業所名	ケアホームOK
【前年度の協議会の意見】	【取り組み方法・取り組み結果】 ※事業所記入欄
1. 常時の支援体制について	
<p>【要望】日中サービス支援型グループホームですが、ほとんどの方が日中活動サービスを利用されており、且つ同法人の生活介護を利用しているようです。前回に引き続き、①利用契約が本人主体で選択されること、②同法人の生活介護以外のサービスも本人の意向で選択できることに留意して下さい。</p>	<p>利用者様の意見、気持ち、意向を尊重しサービスの提供、提案をさせていただいています。利用者様の中には今後自分の生活を気にされてる方ももちろんいらっしゃいます。昨年末には1名の利用者様が自身に合う希望されたグループホームに転居もされてお手伝い等もさせていただきました。利用者様が職員へこれからの人生、生活を相談される事も少なくないためご本人の意思を聞き入れ、それに向けての支援。相談支援事業所の相談員にも利用者様の意向を伝えるなど、身体のことや障害のこともあるため長い目で見ていくことが必要とされるケースが多く医療機関との連携もかかさず行なっています。施設職員全員にも利用者様の意思の確認、自己選択をしていただくよう対応を今後も周知徹底していきます。</p>
2. 短期入所について	
<p>【要望】緊急時の受け入れ事例はなかったようですが、そのような事例があった際には、日中サービス支援型グループホームに短期入所が併設されている趣旨を鑑み、受け入れを検討されるよう要望します。</p>	<p>事業報告シートに記載した通り11月1日から25日まで緊急での短期入所受け入れが1件ありました。7日、14日、22日は元々別の短期入所利用の方が利用する日であったため、今回利用された方は当社他の短期入所可能なショートステイかん月えん、ショートステイとなりを利用していただき対応しました。</p>
3. 特定相談支援事業所等との連携について	
なし	
4. 支援の実施について	
<p>【助言】虐待防止研修については、外部講師による研修が必要ではないでしょうか。</p> <p>【要望】虐待防止研修を行うだけではなく、研修後の施設内の取り組みに留意してください。</p> <p>【助言】障がい特性を理解し適切な支援を行うための知識や技術の習得についての研修をされてはどうか。</p>	<p>常日頃から管理者、リーダーを筆頭に各職員に利用者様との接し方、言葉使い、身体介助など虐待に発展させないための環境を意識し、例えば精神面が不安定で不穏状態になり大声を出してしまっている利用者様には一人のスタッフが声掛けをしてもおさまらない場合、無理に一人では対応せず他のスタッフに対応を代わってもらうなど必ずアプローチを変えるよう対応しています。管理者やリーダー以外の職員も良かった対応や疑問を抱いた事に関してはお互いに言い合えるようにし必ず教訓にしていくことを意識してやっています。運営会議には職員全員が集まるので介助の方法を意見交換、適切な方法を全員で実習する形で行なうことで職員によっては介助等でばらつきのないよう統一したやり方をしていくようにしています。</p>
5. その他	
なし	

# 令和2年度

## 日中サービス支援型共同生活援助 事業実施状況報告シート

※令和2年4月から令和3年3月まで

記入者氏名(管理者)	守屋 由美子
------------	--------

事業所名	ケアホーム9-5		法人名	株式会社ピッチ&パッチ		
事業者所在地	釧路市鳥取北9丁目9番5号		共同生活援助 定員	19人	短期入所 定員	1人
職員配置 (常勤換算)	管理者	サビ管	世話人	生活支援員	夜間体制	
	1人 (1.0人)	1人 (1.0人)	8人 (6.8人)	6人 (5.1人)	2人 (2.0人)	

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
1. 常時の支援体制について		
① 日中活動サービス等を利用できない障がい者への日中支援は、利用者の意向にそっているか	○日中活動サービスの未利用人数： 0人 ※別紙1②転記 支援内容等 日中活動の未利用者はいなかったが、体調や精神面がすぐれず利用出来なかつた日は、食事や排泄の介助など行い、本人の希望に合わせてGH内での余暇活(カラオケ、ゲーム等)を提供している。	
② 日中活動サービス等の利用が制限されていないか	○日中活動サービスの利用人数： 19人 ※別紙1①転記 事業所の方針 利用者からの日中サービス変更の要望や、相談支援事業所からの連絡はなく、意向に沿った利用が出来ていると考えている。	
③ 夜間の支援体制が確保されているか	支援内容等 夜勤者をユニット毎に1名配置し2時間ごとに巡回を行い必要に応じ排泄等の介助を行っている。救急時には看護職員への連絡体制を確保している。	
2. 短期入所について		
地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊のニーズに対応しているか	○短期入所の利用実人数： 1人/年度 ○短期入所の延べ稼働数： 275床/年度 ○短期入所の実人数当たりの平均利用日数： 275.0日/人 緊急受入事例 本年度の短期入所の利用者様は、GHの空きが出来のを待機している利用者様1名のみとなりましたが、令和3年1月1日よりGHへ入居となりました。緊急の受け入れ事例はありませんでした。	
3. 特定相談支援事業所等との連携について		
① 特定相談支援事業を行う事業所は他事業者であるか	○同事業者の特定相談支援利用者数： 15人 ※別紙1③転記 ○他事業者の特定相談支援利用者数： 4人 ※別紙1④転記	
② 特定相談支援事業所等と緊密な連携を図っているか	連携方法 利用者の日常の様子、健康状態など定期的に報告しています。特に心身の状況に大きな変化があった際にはその都度連絡を行い、情報を共有するようにしています。相談事業所から利用者のモニタリングや近況など情報提供を求められた際は、必要に応じて連絡や相談を行い、密に連絡を図っています。	

事業所名	ケアホーム9-5
------	----------

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
4. 支援の実施について		
① 利用者の家族や地域住民との交流の機会が確保されているか	<p>○家族との交流機会： 1人に付き年10回程度実施</p> <p>○地域住民との交流機会： 年間0回程度実施</p> <p>交流内容等            コロナウイルス感染予防の為、今年度は地域住民の方との交流機会は控えました。            ご家族様との交流は、一時的に面会を制限させて頂き(短時間、相談室利用、人数制限)出来るだけ手紙や電話での交流を行っていました。</p>	
② 利用者が充実した地域生活を送るために、外出や余暇活動等の支援に努めているか	<p>○全体のレクリエーション： 年間7回程度実施</p> <p>○個別のレクリエーション： 年間6回程度実施</p> <p>支援内容等            全体のレクは、誕生会、ホーム内でのお楽しみ会(釣りゲームやカラオケ)、敷地内での焼肉、クリスマス会            個別のレクは、コロナ感染予防の為、買い物はインターネットを利用し、外食の代わりにテイクアウトで、希望のメニューを選んで頂く、食事会を行いました。</p>	
③ 研修等により、支援の質の確保に努めているか	<p>○実施した研修等の例</p> <p>① 強度行動障害の支援について R02.04・16 14名 参加            講師： 守屋由美子 (ケアホーム9-5 管理者)            内容： ・強度行動障害とは            ・支援について</p> <p>② 虐待防止研修 R02.09.24 実施 14名 参加            講師： 村上勇生 (ジミ・あーね管理者)            内容： ・虐待の種類            ・虐待の起る背景</p> <p>研修後の取組            強度行動障がいの対象となる利用者様の支援について話し合い、落ち着いて過ごせる環境作りをご家族様にも協力して頂き、居室内の模様替えを行い、以前は居室で過ごす事はなかったのですが、居室でテレビを観られる等落ち着いて過ごされる様になりました。</p>	
5. その他		
特別に記載することがあればご記入ください		
6. 自立支援協議会からの要望、助言に対する取り組み		
自立支援協議会からの要望、助言に誠実に取り組んでいるか	取り組み方法、取り組み結果については、別紙2のとおり	

# 別紙1 利用者の状況

事業所名 ケアホーム9-5

令和3年3月31日 現在

No.	性別	年代	支給 決定 市町村	障害種別・等級			障害 支援 区分	車椅子 利用	特別 な 対応	対応の詳細、 頻度等	利用中の日中 活動サービス	月平均 利用日数	特定相談支援事業所名	
				身体手帳	精神 手帳	療育 手帳					事業所名			
1	男	60代	鉦路市		1級		区分5		有	浣腸適宜	生活介護 生活介護事業所イカサル	21日/月	ウルカス	
2	女	60代	鉦路市	2種 5級		A	区分6	有	有	浣腸適宜 インシュリン 注射1日1回	生活介護 生活介護事業所イカサル	19日/月	ウルカス	
3	女	60代		1種 1級			区分4	有			生活介護 生活介護事業所イカサル	20日/月	ウルカス	
4	男	60代	その他	2種 5級		B	区分4				生活介護 生活介護事業所イカサル	19日/月	ウルカス	
5	女	60代	鉦路市		2級		区分3				生活介護 生活介護事業所イカサル	19日/月	ウルカス	
6	男	50代	鉦路市	1種 2級			区分6	有			生活介護 生活介護事業所イカサル	20日/月	相談事業所ソラ	
7	女	50代	その他	1種 2級		A	区分6	有	有	畜尿・カテーテ ル交換月1回・ 経管栄養1日2	生活介護 生活介護事業所イカサル	16日/月	ウルカス	
8	女	50代	その他		2級		区分5				生活介護 生活介護事業所イカサル	19日/月	ハート鉦路	
9	男	50代	鉦路市		1級		区分4				生活介護 生活介護事業所イカサル	20日/月	ウルカス	
10	女	50代	その他		3級		区分4		有	浣腸適宜	生活介護 生活介護事業所イカサル	20日/月	ウルカス	
11	女	50代	鉦路市		1級		区分3				生活介護 生活介護事業所イカサル	20日/月	ウルカス	
12	男	40代	鉦路市	1種 1級			区分6	有	有	浣腸適宜	生活介護 せいか	20日/月	ウルカス	
13	男	40代	その他		2級		区分6				生活介護 生活介護事業所イカサル	20日/月	ウルカス	
14	男	40代	その他			B	区分4				生活介護 生活介護事業所イカサル	29日/月	ハート鉦路	
15	男	40代	その他		2級		区分3				生活介護 生活介護事業所イカサル	20日/月	ウルカス	
16	男	30代	鉦路市			A	区分6				生活介護 生活介護事業所イカサル	20日/月	自立センター	
17	男	30代	鉦路市	1種 1級			区分6	有			生活介護 生活介護事業所イカサル	19日/月	ウルカス	
18	女	20代	その他	1種 1級		A	区分6	有			生活介護 生活介護事業所イカサル	19日/月	ウルカス	
19	女	20代	その他		2級	B	区分4				生活介護 生活介護事業所イカサル	20日/月	ウルカス	
20														
(特記事項)											①日中サービス 利用者	計19人	③同事業者	計15人
											②日中サービス 未利用者	計0人	④他事業者	計4人

## 別紙2 自立支援協議会意見への取り組み状況

事業所名	ケアホーム9-5
【前年度の協議会の意見】	【取り組み方法・取り組み結果】 ※事業所記入欄
1. 常時の支援体制について	
<p>【要望】日中サービス支援型グループホームですが、ほとんどの方が日中活動サービスを利用されており、且つ同法人の生活介護を利用しているようです。前回に引き続き、①利用契約が本人主体で選択されること、②同法人の生活介護以外のサービスも本人の意向で選択できることに留意して下さい。</p>	<p>個別支援計画の更新、モニタリング時にご本人様やご家族様に移行を聞き取っています。利用者様の意向に沿えるよう日々に様子や、利用者様からの訴えには耳を傾け情報共有し、月2回行われる個別支援会議で検討を行い、利用者様に取って良い支援が行えるように心掛けています。特定相談支援事業所の担当者とも密に連絡を図り、必要に応じ他の利用についての相談なども行っています。</p>
2. 短期入所について	
<p>【要望】緊急時の受け入れ事例はなかったようですが、そのような事例があった際には、日中サービス支援型グループホームに短期入所が併設されている趣旨を鑑み、受け入れを検討されるよう要望します。</p>	<p>本年度は、GHの空きが出来るのを待機されている方が入所されており、R3年1月からGHの空きが出た為、1月より短期が空きとなりましたので、今後は緊急時の受け入れを速やかに対応できるよう準備をしたいと考えています。</p>
3. 特定相談支援事業所等との連携について	
なし	
4. 支援の実施について	
<p>【助言】虐待防止研修については、外部講師による研修が必要ではないでしょうか。</p> <p>【要望】虐待防止研修を行うだけではなく、研修後の施設内の取り組みに留意してください。</p> <p>【助言】障がい特性を理解し適切な支援を行うための知識や技術の習得についての研修をされてはどうか。</p>	<p>助言について、令和2年度はコロナ禍の為、虐待研修は社内研修とオンライン研修、動画による外部研修のみとなってしまいましたが、令和3年度は助言を踏まえ計画を立てて行きたいと思います。</p> <p>虐待防止研修後の取り組みとして、不適切な言葉掛けや対応に対して毎月行われる会議の中で、職員が互いに気付きとして挙げてもらい、互いに改め虐待に繋がらないよう虐待防止に対する意識がかわりました。</p>
5. その他	
なし	

# 令和2年度

## 日中サービス支援型共同生活援助 事業実施状況報告シート

※令和2年4月から令和3年3月まで

記入者氏名(管理者)	山崎 公美子
------------	--------

事業所名	ケアホームトーロ		法人名	株式会社 ピッチ&パッチ		
事業者所在地	釧路市鳥取北9丁目9番16号		共同生活援助 定員	19人	短期入所 定員	6人
職員配置 (常勤換算)	管理者	サビ管	世話人	生活支援員	夜間体制	
	1人 (1.0人)	1人 (0.1人)	9人 (7.8人)	6人 (5.3人)	2人 (2.0人)	

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
1. 常時の支援体制について		
① 日中活動サービス等を利用できない障がい者への日中支援は、利用者の意向にそっているか	○日中活動サービスの未利用人数： 0人 ※別紙1②転記 日中活動の未利用者はいなかったが、体調や精神面がすぐれず利用できなかった日には食事や排泄の介助など行っている。また、本人の希望に合わせてホーム内でのカラオケや折り紙工作、塗り絵などの余暇活動を提供している。	
② 日中活動サービス等の利用が制限されていないか	○日中活動サービスの利用人数： 19人 ※別紙1①転記 利用者から利用中の日中サービス変更の要望を受け、希望に合わせて、複数の生活介護を利用するなど意向に沿った支援を行っている。	
③ 夜間の支援体制が確保されているか	支援内容等 夜勤者をユニット毎に1名配置し2時間ごとに巡回を行い、排泄等の介助を行っている。救急時には看護職員への連絡体制を確保している。	
2. 短期入所について		
地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊のニーズに対応しているか	○短期入所の利用実人数： 25人/年度 ○短期入所の延べ稼働数： 1,329床/年度 ○短期入所の実人数当たりの平均利用日数： 53.2日/人 緊急受入事例 本年度の短期入所の利用者様は、GHの空待ちの方を含め定期的にご利用されて入る方がほとんどですが、緊急受け入れも行っており、本年度は、ご家族様とのトラブルにより緊急入所の受け入れを行っております。 本年度はコロナウイルスの影響もあり、ご利用される方は減少傾向にあります。	
3. 特定相談支援事業所等との連携について		
① 特定相談支援事業を行う事業所は他事業者であるか	○同事業者の特定相談支援利用者数： 15人 ※別紙1③転記 ○他事業者の特定相談支援利用者数： 4人 ※別紙1④転記	
② 特定相談支援事業所等と緊密な連携を図っているか	連携方法 利用者の日常の様子や健康状態などの情報を定期的に報告し、利用者、相談支援員、担当職員、管理者を交えて要望の聴取(利用者1人当たり年1回程度)を行っている。また、心身状態の変化があった際には、相談支援事業所へ連絡し密に連絡を図っています。	

事業所名	ケアホームトーロ
------	----------

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
4. 支援の実施について		
① 利用者の家族や地域住民との交流の機会が確保されているか	<p>○家族との交流機会： 1人に付き 年12回程度実施</p> <p>○地域住民との交流機会： 年間0回程度実施</p> <p>交流内容等 ご家族様との交流はコロナウイルス感染予防の為、短時間での面会とさせて頂き、手紙や電話での交流を行っていました。地域住民の方との交流は今年度はコロナウイルスの影響もあり交流機会は控えました。</p>	
② 利用者が充実した地域生活を送るために、外出や余暇活動等の支援に努めているか	<p>○全体のレクリエーション： 年間10回程度実施</p> <p>○個別のレクリエーション： 1人に付き 年間6回程度実施</p> <p>支援内容等 全体レクは、コロナウイルスの影響の為、外出制限を余儀なくされているため、GHにキッチンカーを呼び、利用者の目の前でラーメンを作ってもらい出来立てを召し上ってもらい少しでも外出気分を味わっていただきました。個別レクは利用者の誕生日に好きな食物やデザートを提供。外食の代わりにテイクアウトし食事会を行いました。</p>	
③ 研修等により、支援の質の確保に努めているか	<p>○実施した研修等の例</p> <p>① 発達障害 R.2.04.27実施 14名参加 講師： 山崎公美子 (ケアホームトキュウ管理者) 内容： ・ADHDとは ・知的障害とは ・学習障害とは</p> <p>② 虐待防止研修 R02.09.24実施 14名 参加 講師： 村上 勇生 (ジミー・あーね管理者) 内容： ・虐待の種類 ・虐待の起る背景</p> <p>研修後の取組 発達障害の利用者様の支援について話し合い、言語的なコミュニケーションが難しい利用者様には食事や身支度など写真や絵カードを使用し、困った行動を取らなくて済むよう事前に分かりやすく伝えることが出来るようになりました。</p>	
5. その他		
特別に記載することがあればご記入ください		
6. 自立支援協議会からの要望、助言に対する取り組み		
自立支援協議会からの要望、助言に誠実に取り組んでいるか	取り組み方法、取り組み結果については、別紙2のとおり	

# 別紙1 利用者の状況

事業所名 ケアホームトーロ

令和3年3月31日 現在

No.	性別	年代	支給 決定 市町村	障害種別・等級			障害 支援 区分	車椅子 利用	特別 な 対応	対応の詳細、 頻度等	利用中の日中 活動サービス	月平均 利用日数	特定相談支援事業所名
				身体手帳	精神 手帳	療育 手帳					事業所名		
1	男	60代	釧路市	1種 1級			区分6	有		生活介護 イカサル	20日/月	ハート釧路	
2	女	60代	釧路市		1級		区分6			生活介護 イカサル	19/月	ウルカス	
3	女	60代	釧路市		2級		区分6			生活介護 イカサル	20/月	ウルカス	
4	女	20代	釧路市			A	区分6			生活介護 イカサル	20日/月	ウルカス	
5	男	50代	釧路市	2種 5級			区分4			生活介護 イカサル	20日/月	ウルカス	
6	女	60代	その他		1級	A	区分6			生活介護 イカサル	20日/月	ウルカス	
7	女	50代	その他				区分2			生活介護 イカサル	19/月	ハート釧路	
8	男	60代	その他		1級		区分5			生活介護 イカサル	20日/月	ウルカス	
9	男	20代	その他			A	区分4			生活介護 イカサル	20/月	あーかす	
10	男	30代	釧路市	1種 1級		A	区分6	有	有 畜尿バック カテーテル交換 3回/月	生活介護 イカサル・丹頂の園	18/月	ウルカス	
11	男	50代	その他	1種 2級	1級		区分6			生活介護 イカサル	19/月	ゆい	
12	女	50代	釧路市		1級		区分6			生活介護 イカサル	20日/月	ウルカス	
13	男	50代	釧路市		2級	A	区分5			生活介護 イカサル	20日/月	ウルカス	
14	男	60代	釧路市	1種 2級	1級		区分6			生活介護 イカサル	20日/月	ウルカス	
15	男	60代	釧路市		2級	B	区分3			生活介護 イカサル	19/月	ウルカス	
16	男	30代	釧路市		2級	B	区分6	有	有 畜尿バック カテーテル交換 3回/月	生活介護 イカサル	16日/月	ウルカス	
17	男	40代	釧路市		2級		区分3			生活介護 イカサル	20日/月	ウルカス	
18	男	30代	釧路市		1級		区分5	有		生活介護 イカサル	19/月	ウルカス	
19	男	50代	釧路市		1級		区分6	有		生活介護 イカサル	19/月	ウルカス	
20													
(特記事項)				NO.7手帳なし (精神)						①日中サービス利用者 19人		③同事業者 15人	
										②日中サービス未利用者 0人		④他事業者 4人	

## 別紙2 自立支援協議会意見への取り組み状況

事業所名	ケアホームトーロ
【前年度の協議会の意見】	【取り組み方法・取り組み結果】 ※事業所記入欄
1. 常時の支援体制について	
<p>【要望】日中サービス支援型グループホームですが、ほとんどの方が日中活動サービスを利用されており、且つ同法人の生活介護を利用しているようです。前回に引き続き、①利用契約が本人主体で選択されること、②同法人の生活介護以外のサービスも本人の意向で選択できることに留意して下さい。</p>	<p>個別支援の更新やモニタリング時にご本人様やご家族様の意向を聞き取り、利用中の日中サービス変更の要望を受け、希望に合わせて複数の生活介護を利用するなどの支援を行っています。</p> <p>月に2回、個別支援会議を行い、利用者様にあった支援を行えるよう心掛け、利用者様からの要望等があれば傾聴し、情報共有を行っています。</p> <p>相談支援事業所の担当者とも連絡を図り、必要に応じて様々なサービス利用についての相談等も行っています。</p>
2. 短期入所について	
<p>【要望】緊急時の受け入れ事例はなかったようですが、そのような事例があった際には、日中サービス支援型グループホームに短期入所が併設されている趣旨を鑑み、受け入れを検討されるよう要望します。</p>	<p>本年度は、ご家族様とのトラブルにより、夜間に緊急入所され、その後も同じ方ですが、自宅を飛び出し警察が間に入り緊急入所となっています。</p> <p>今後も、緊急時の受け入れを行っていきます。</p>
3. 特定相談支援事業所等との連携について	
なし	
4. 支援の実施について	
<p>【助言】虐待防止研修については、外部講師による研修が必要ではないでしょうか。</p> <p>【要望】虐待防止研修を行うだけでなく、研修後の施設内の取り組みに留意してください。</p> <p>【助言】障がい特性を理解し適切な支援を行うための知識や技術の習得についての研修をされてはどうか。</p>	<p>助言について、令和2年度はコロナウイルスの影響もあり虐待研修は社内研修のみの実施となってしまいましたが、令和3年度は助言を踏まえ、オンラインでの研修も含め計画を立てていきたいと思っております。</p>
5. その他	
なし	

# 令和2年度

## 日中サービス支援型共同生活援助 事業実施状況報告シート

※令和2年4月から令和3年3月まで

記入者氏名(管理者)	須藤 朗子
------------	-------

事業所名	ケアホームとなり		法人名	株式会社 ピッチ&パッチ		
事業者所在地	釧路市春採4丁目1番17号		共同生活援助 定員	19人	短期入所 定員	1人
職員配置 (常勤換算)	管理者	サビ管	世話人	生活支援員	夜間体制	
	1人 (0.9人)	1人 (0.1人)	8人 (5.9人)	7人 (5.3人)	2人 (2.0人)	

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
1. 常時の支援体制について		
① 日中活動サービス等を利用できない障がい者への日中支援は、利用者の意向にそっているか	<p>○日中活動サービスの未利用人数： 0人 ※別紙1②転記</p> <p>支援内容等 日中の支援は食事、排泄、入浴介助を行う他、ご本人の意向を聞き取っている。音楽番組、スポーツ中継、映画などあらかじめ観たい番組を聞き取り録画し、日中鑑賞できるよう支援した。ホーム内でできる体操、軽運動、ゲームを一緒に行った。希望が多かった外食の代わりにご本人の希望の食事をテイクアウトで提供した。</p>	
② 日中活動サービス等の利用が制限されていないか	<p>○日中活動サービスの利用人数： 17人 ※別紙1①転記</p> <p>事業所の方針 本人や家族の希望、意向に合わせた日中活動サービスを利用していただいている。</p>	
③ 夜間の支援体制が確保されているか	<p>支援内容等 夜勤者をユニットごとに1名配置し2時間毎の巡回やコール対応をしている。緊急時は看護師との連絡体制を確保しており医療との連携をとっている。</p>	
2. 短期入所について		
地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊のニーズに対応しているか	<p>○短期入所の利用実人数： 7人/年度</p> <p>○短期入所の延べ稼働数： 105床/年度</p> <p>○短期入所の実人数当たりの平均利用日数： 15.0日/人</p> <p>緊急受入事例 支援者である家族が入院することになり、ひとりで過ごすことが難しいため緊急の利用になりました。入院期間が1か月以上で、すでに当ホームのショートステイの先約があったために連続の利用ではなく、いくつかのショートステイ事業所を利用されています。</p>	
3. 特定相談支援事業所等との連携について		
① 特定相談支援事業を行う事業所は他事業者であるか	<p>○同事業者の特定相談支援利用者数： 6人 ※別紙1③転記</p> <p>○他事業者の特定相談支援利用者数： 11人 ※別紙1④転記</p>	
② 特定相談支援事業所等と緊密な連携を図っているか	<p>連携方法 利用者の日常の様子、健康状態など相談支援専門員に定期的に報告している。心身の大きな変化がみられた場合は必要に応じて連絡をとり連携を図っている。</p>	

事業所名	ケアホームとなり
------	----------

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
<b>4. 支援の実施について</b>		
① 利用者の家族や地域住民との交流の機会が確保されているか	<p>○家族との交流機会： 1人に付き 年6回程度実施</p> <p>○地域住民との交流機会： 年間0回程度実施</p> <p>交流内容等            コロナウイルス感染予防対策として今年度は地域の方との交流機会は控えました。外で顔を合わせた時には挨拶を交わしました。家族との交流は昨年度よりも外出(外泊や食事)での交流機会は減りましたが、電話や短時間の面会などを行いました。</p>	
② 利用者が充実した地域生活を送るために、外出や余暇活動等の支援に努めているか	<p>○全体のレクリエーション： 年間9回程度実施</p> <p>○個別のレクリエーション： 1人に付き 年間6回程度実施</p> <p>支援内容等            全体のレクは毎月の誕生会、クリスマス会、キッチンカーによるラーメン食事会を行いました。フロアごとでは屋外での焼肉、カラオケ大会、利用者様の希望メニュー(ピザやハンバーガー)の食事会を実施しました。ホーム内ではおやつ作りやトランプなどのゲームで利用者同士の交流を図りました。</p>	
③ 研修等により、支援の質の確保に努めているか	<p>○実施した研修等の例</p> <p>① 虐待防止研修 R2.11.16, 11.29 15名 参加            講師： 須藤 朗子 (ケアホームとなり管理者)            内容： 新人職員のために虐待の定義、種類、事例などを説明し、それを踏まえ職員から虐待かも？と思ったことを発表してもらいました。その事例を全員で考え良いケアの方法を検討しました。</p> <p>② 強度行動障害支援者研修 R02.10.12 実施 15名 参加            講師： 永井 智一 (ケアホームとなりリーダー)            内容： 上記研修の実践課程を受講した職員が講師になり、抜粋した研修資料をもとに対象者の特徴や支援手順を学習しました。</p> <p>研修後の取組            ①の研修ではそれぞれの職員が悩んでいた事例もあり、研修後には全員で同じケアに取り組み以前よりも円滑な支援ができるようになった。②の研修後は毎日のシートを夜勤者が作成し対象者の支援計画の見直しなどに役立っている。</p>	
<b>5. その他</b>		
特別に記載することがあればご記入ください		
<b>6. 自立支援協議会からの要望、助言に対する取り組み</b>		
自立支援協議会からの要望、助言に誠実に取り組んでいるか	取り組み方法、取り組み結果については、別紙2のとおり	

# 別紙1 利用者の状況

事業所名 ケアホームとなり

令和3年3月31日 現在

No.	性別	年代	支給 決定 市町村	障害種別・等級			障害 支援 区分	車椅子 利用	特別 な 対応	対応の詳細、 頻度等	利用中の日中 活動サービス	月平均 利用日数	特定相談支援事業所名
				身体手帳	精神 手帳	療育 手帳					事業所名		
1	男	70代	釧路市		2級		区分6			生活介護 レンリソウ	21日/月	あいけあ	
2	男	60代	釧路市	2種 4級	1級		区分5	有		生活介護 レンリソウ	22日/月	あいけあ	
3	男	60代	釧路市		2級		区分5	有		生活介護 いっかい	22日/月	ソラ	
4	男	60代	釧路市		1級		区分6	有	有	畜尿バッグ・カ テーテル交換1 回/月 浣腸	22日/月 いっかい	ハート釧路	
5	女	60代	釧路市	1種 1級			区分6	有	有	畜尿バッグ・カ テーテル交換・ ワッシャー交換	22日/月 いっかい	ウルカス	
6	男	60代	その他	1種 1級	1級		区分6	有	有	畜尿バッグ・カ テーテル交換1 回/月	20日/月 レンリソウ	ウルカス	
7	男	60代	釧路市		1級		区分4				22日/月 レンリソウ	あいけあ	
8	男	50代	釧路市		1級		区分5		有	浣腸 2回/月	21日/月 レンリソウ	あいけあ	
9	女	50代	その他		2級		区分4				21日/月 レンリソウ	ウルカス	
10	女	50代	釧路市	1種 2級		A	区分6	有			22日/月 いっかい	あいけあ	
11	女	50代	釧路市	2種 4級	2級		区分4	有			17日/月 レンリソウ	あいけあ	
12	男	50代	釧路市	1種 2級			区分5	有			8日/月 レンリソウ	あいけあ	
13	女	40代	釧路市				区分4				21日/月 レンリソウ	ウルカス	
14	男	40代	釧路市			A	区分6				22日/月 レンリソウ	あいけあ	
15	男	30代	釧路市			A	区分5				22日/月 レンリソウ	あいけあ	
16	女	30代	その他	1種 2級			区分6	有	有	摘便4回/月、 浣腸	22日/月 いっかい	ウルカス	
17	男	20代	釧路市	1種 1級			区分6				22日/月 いっかい	ウルカス	
18													
19													
20													

(特記事項)

NO13 手帳なし(精神)

①日中サービス 利用者	計17人	③同事業者	計6人
②日中サービス 未利用者	計0人	④他事業者	計11人

## 別紙2 自立支援協議会意見への取り組み状況

事業所名	ケアホームとなり
【前年度の協議会の意見】	【取り組み方法・取り組み結果】 ※事業所記入欄
1. 常時の支援体制について	
<p>【要望】日中サービス支援型グループホームですが、ほとんどの方が日中活動サービスを利用されており、且つ同法人の生活介護を利用しているようです。前回に引き続き、①利用契約が本人主体で選択されること、②同法人の生活介護以外のサービスも本人の意向で選択できることに留意して下さい。</p>	<p>個別支援計画の更新、モニタリング時、またご家族が来訪された時などご本人やご家族から意向を聞き取っています。令和2年度は他のサービスの希望は聞かれませんでした。今後も本人主体のサービス決定ができるよう留意します。</p>
2. 短期入所について	
<p>【要望】緊急時の受け入れ事例はなかったようですが、そのような事例があった際には、日中サービス支援型グループホームに短期入所が併設されている趣旨を鑑み、受け入れを検討されるよう要望します。</p>	<p>令和2年度は1件緊急時の受入を行っております。今後も速やかに対応できるよう準備したいと考えております。</p>
3. 特定相談支援事業所等との連携について	
なし	
4. 支援の実施について	
<p>【助言】虐待防止研修については、外部講師による研修が必要ではないでしょうか。</p> <p>【要望】虐待防止研修を行うだけではなく、研修後の施設内の取り組みに留意してください。</p> <p>【助言】障がい特性を理解し適切な支援を行うための知識や技術の習得についての研修をされてはどうか。</p>	<p>①コロナ禍のため令和2年度の研修は社内研修とオンライン研修、動画による外部研修でした。3年度は助言を踏まえ計画したいと思います。要望に関しては、自分の身のまわりで起きている”虐待かもしれない”という事例を公表してもらい、職員全員で検討しました。同記事例をそれぞれの職員が悩んでいたことがあり、研修後には全員で同じケアに取り組み、以前よりも円滑な支援ができるようになりました。今後も継続して行う予定です。② 令和2年度の研修では強度行動障害支援者研修実践課程(外部講習)を受講した職員による研修を行いました。改めて支援の難しさを知ったり、支援手順を学びました。他には北海道大学病院リハビリテーション部主催の高次脳機能障がい支援者研修会の講演動画を視聴しました。オンラインや動画による研修が増えましたので、3年度も継続して受講したいと思います。</p>
5. その他	
なし	

# 令和2年度

## 日中サービス支援型共同生活援助 事業実施状況報告シート

※令和2年4月から令和3年3月まで

記入者氏名(管理者)	清水 亮太
------------	-------

事業所名	グループホームいまい		法人名	株式会社 いまい		
事業者所在地	釧路市益浦3丁目21番3号		共同生活援助 定員	9人	短期入所 定員	1人
職員配置 (常勤換算)	管理者	サビ管	世話人	生活支援員	夜間体制	
	1人 (1.0人)	1人 (1.0人)	3人 (3.0人)	3人 (2.5人)	1人 (1.0人)	

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
1. 常時の支援体制について		
① 日中活動サービス等を利用できない障がい者への日中支援は、利用者の意向にそっているか	○日中活動サービスの未利用人数： 2人 ※別紙1②転記 日中の支援は食事・居室清掃・入浴の準備の支援・介助を行うほか本人希望で買い物同行や代行、通院の同行支援を実施しています。また、GH内でも余暇活動を行えるように支援をしている。	
② 日中活動サービス等の利用が制限されていないか	○日中活動サービスの利用人数： 7人 ※別紙1①転記 本人希望のもとに相談支援専門員から日中活動サービスの変更連絡があった際などは、関係者へ本人の状態について情報提供を行ったり、サービス担当者会議でも日中活動サービスの利用方向に変化がないか随時確認している。	
③ 夜間の支援体制が確保されているか	支援内容等 夜勤者は1人を配置しており、24時に巡回をしている。就寝薬の服薬管理やコールによる対応しています。緊急時には看護師や医療機関と連携体制を確保しており医療との連携をしている。	
2. 短期入所について		
地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊のニーズに対応しているか	○短期入所の利用実人数： 0人/年度 ○短期入所の延べ稼働数： 0床/年度 ○短期入所の実人数当たりの平均利用日数： #DIV/0! 緊急受入事例 今現在は利用実績はありませんが、緊急時での一時的な宿泊でも対応できるようにしています。	
3. 特定相談支援事業所等との連携について		
① 特定相談支援事業を行う事業所は他事業者であるか	○同事業者の特定相談支援利用者数： 4人 ※別紙1③転記 ○他事業者の特定相談支援利用者数： 5人 ※別紙1④転記	
② 特定相談支援事業所等と緊密な連携を図っているか	連携方法 本人の希望に沿った支援が行えるように、サービス等利用計画と個別支援計画に沿って相談支援専門員と利用状況や健康状態などを密に連絡を取り合い情報の共有をする。	

事業所名	グループホームいまい
------	------------

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
4. 支援の実施について		
① 利用者の家族や地域住民との交流の機会が確保されているか	<p>○家族との交流機会： 1人に付き 年6回程度実施</p> <p>○地域住民との交流機会： 年間2回程度実施</p> <p>交流内容等 家族との交流に関して、定期的に様子確認・差し入れや外出、外泊などしていただいています。地域交流は令和2年10月に店舗などを呼び小規模であるが近隣住民との交流をしました。</p>	
② 利用者が充実した地域生活を送るために、外出や余暇活動等の支援に努めているか	<p>○全体のレクリエーション： 年間6回程度実施</p> <p>○個別のレクリエーション： 1人に付き 年間0回程度実施</p> <p>支援内容等 全体レクとして、季節柄イベントに合わせた料理や不定期に焼き肉などを提供しています。個人レクとしては、買い物などの外出支援を行ったり、GH内で運動なども実施しています。</p>	
③ 研修等により、支援の質の確保に努めているか	<p>○実施した研修等の例</p> <p>① コロナ対策 R03.01.15 実施 4名 参加 講師： 菊地 雄輝 (グループホームかがやき) 内容： コロナ感染防止対策やコロナに感染した場合の行動を再度資料を確認しながら学んでいく。</p> <p>② 講師： 内容：</p> <p>研修後の取組 コロナ感染防止対策として、再度マスク着用・手洗いうがい・手指消毒・日々の体調確認・体温測定など基本的行動を徹底的に実施している。</p>	
5. その他		
特別に記載することがあればご記入ください		
6. 自立支援協議会からの要望、助言に対する取り組み		
自立支援協議会からの要望、助言に誠実に取り組んでいるか	取り組み方法、取り組み結果については、別紙2のとおり	

# 別紙1 利用者の状況

事業所名 グループホームいまい

令和3年3月31日 現在

No.	性別	年代	支給 決定 市町村	障害種別・等級			障害 支援 区分	車椅子 利用	特別 な 対応	対応の詳細、 頻度等	利用中の日中 活動サービス	月平均 利用日数	特定相談支援事業所名
				身体手帳	精神 手帳	療育 手帳					事業所名		
1	男	50代	その他	1種 1級			区分3	有	有	トイレ入浴介助 その都度	生活介護 あいぱーる	4日/月	相談支援センターにじ
2	男	50代	釧路市	2種 4級	3級		区分3						相談支援事業所いまい
3	男	20代	その他	1種 1級			区分5						自立センター
4	男	50代	釧路市	1種 1級			区分6	有	有	トイレ入浴介助 その都度	就労B型 卵らん	7日/月	相談支援センターあーかす
5	男	20代	釧路市			B	区分3				就労B型 うるるあ	20日/月	相談支援事業所ソラ
6	男	50代	その他			B	区分3				生活介護 リール	16日/月	相談支援事業所いまい
7	男	60代	釧路市	2種 2級			区分4		有	入浴介助 その都度	生活介護 それいゆ	8日/月	相談支援事業所いまい
8	男	20代	釧路市			A	区分6			入浴介助 その都度	生活介護 カルマ	20日/月	相談支援事業所いんくる
9	男	60代	釧路市	1種 3級			区分3				生活介護 リール	16日/月	相談支援事業所いまい
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													

(特記事項)

①日中サービス 利用者	計7人	③同事業者	計4人
②日中サービス 未利用者	計2人	④他事業者	計5人

# 令和2年度

## 日中サービス支援型共同生活援助 事業実施状況報告シート

※令和2年4月から令和3年3月まで

記入者氏名(管理者)	菊地 雄輝
------------	-------

事業所名	グループホームかがやき		法人名	株式会社 いまい		
事業者所在地	釧路市益浦3丁目21番3号		共同生活援助 定員	9人	短期入所 定員	1人
職員配置 (常勤換算)	管理者	サビ管	世話人	生活支援員	夜間体制	
	1人 (1.0人)	1人 (1.0人)	3人 (3.0人)	3人 (2.5人)	1人 (1.0人)	

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
1. 常時の支援体制について		
① 日中活動サービス等を利用できない障がい者への日中支援は、利用者の意向にそっているか	<p>○日中活動サービスの未利用人数： 1人 ※別紙1②転記</p> <p>支援内容等 日中の支援は食事・居室清掃・入浴の準備の支援を行うほか本人希望で買い物同行や代行、通院の同行支援を実施しています。また、GH内でも余暇活動を行えるような支援をしている。</p>	
② 日中活動サービス等の利用が制限されていないか	<p>○日中活動サービスの利用人数： 3人 ※別紙1①転記</p> <p>事業所の方針 本人希望のもとに相談支援専門員から日中活動サービスの変更連絡があった際などは、関係者へ本人の状態について情報提供を行ったり、サービス担当者会議でも日中活動サービスの利用方向に変化がないか随時確認している。</p>	
③ 夜間の支援体制が確保されているか	<p>支援内容等 夜勤者は1人を配置しており、24時に巡回をしている。就寝薬の服薬管理やコールによる対応しています。緊急時には看護師や医療機関と連携体制を確保しており医療との連携をしている。</p>	
2. 短期入所について		
地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊のニーズに対応しているか	<p>○短期入所の利用実人数： 1人/年度</p> <p>○短期入所の延べ稼働数： 7床/年度</p> <p>○短期入所の実人数当たりの平均利用日数： 7.0日/人</p> <p>緊急受入事例 今年度は1名の緊急受入があり。入院中に身体機能の低下により自宅に帰るのが困難になると予想された為、相談支援専門員から問い合わせがり、空床があり本格入所を目的に、まずは体験入所を7日間だけ一時的に受け入れた。</p>	
3. 特定相談支援事業所等との連携について		
① 特定相談支援事業を行う事業所は他事業者であるか	<p>○同事業者の特定相談支援利用者数： 2人 ※別紙1③転記</p> <p>○他事業者の特定相談支援利用者数： 2人 ※別紙1④転記</p>	
② 特定相談支援事業所等と緊密な連携を図っているか	<p>連携方法 本人の希望に沿った支援が行えるように、サービス等利用計画と個別支援計画に沿って相談支援専門員と利用状況や健康状態などを密に連絡を取り合い情報の共有をする。</p>	

事業所名	グループホームかがやき
------	-------------

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
<b>4. 支援の実施について</b>		
① 利用者の家族や地域住民との交流の機会が確保されているか	<p>○家族との交流機会： 1人に付き 年0回程度実施</p> <p>○地域住民との交流機会： 年間2回程度実施</p> <p>交流内容等 家族との交流に関して、疎遠や遠方の方が多いため交流する機会が少ないです。近況の変化などで施設から家族に連絡する事は何度かあります。地域交流はコロナ流行のため現在は控えています。</p>	
② 利用者が充実した地域生活を送るために、外出や余暇活動等の支援に努めているか	<p>○全体のレクリエーション： 年間4回程度実施</p> <p>○個別のレクリエーション： 1人に付き 年間0回程度実施</p> <p>支援内容等 全体レクとして、誕生日や季節イベントなどで特別な料理を提供させてもらっています。 個別レクでは買い物などの外出支援を行ったり、切り絵等などの作成を実施しています</p>	
③ 研修等により、支援の質の確保に努めているか	<p>○実施した研修等の例</p> <p>① 身体介助について① R03.01.15 実施 4名 参加 講師： 菊地 雄輝 (グループホームかがやき) 内容： 身体介助について(移乗・トイレ・入浴)介助方法の流れや危険行為などを説明し、職員をモデルにして実技を実施する。そして実際に介助をしてもらいながら職員同士で改善ポイント探しながら介助の質を高めた</p> <p>② 身体介助について② R03.01.20 実施 4名 参加 講師： 菊地 雄輝 (グループホームかがやき) 内容： 前回に引き続き、(更衣・入浴・トイレ)の介助方法のやり方や流れを説明し職員をモデルに模擬実践を行うやり方を理解したら実際に入居者を相手に実施してもらい改善ポイントを探しながら介助の質を高める</p> <p>研修後の取組 日々介助を必要とされる方に対して実施し、改善するポイントがあった場合は話しながら細かい部分を直していく。</p>	
<b>5. その他</b>		
特別に記載することがあればご記入ください		
<b>6. 自立支援協議会からの要望、助言に対する取り組み</b>		
自立支援協議会からの要望、助言に誠実に取り組んでいるか	取り組み方法、取り組み結果については、別紙2のとおり	

# 別紙1 利用者の状況

事業所名 グループホームかがやき

令和3年3月31日 現在

No.	性別	年代	支給 決定 市町村	障害種別・等級			障害 支援 区分	車椅子 利用	特別 な 対応	対応の詳細、 頻度等	利用中の日中 活動サービス	月平均 利用日数	特定相談支援事業所名	
				身体手帳	精神 手帳	療育 手帳					事業所名			
1	男	50代	鉧路市	1種 1級			区分6	有	有	頓服服用/都度	生活介護 ココロミクラブティ	15日/月	相談いまい	
2	男	60代	鉧路市	1種 1級			区分4	有			生活介護 丹頂の園	15日/月	相談いまい	
3	男	60代	鉧路市	1種 2級			区分5		有	ストマ対応 都度	生活介護 ほっと	15日/月	相談クローバー	
4											就労B型 ビビアナ	10日/月		
5	男	60代	その他			B	区分4				利用なし		相談ハート鉧路	
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
(特記事項)											①日中サービス 利用者	計3人	③同事業者	計2人
											②日中サービス 未利用者	計1人	④他事業者	計2人

# 令和2年度

## 日中サービス支援型共同生活援助 事業実施状況報告シート

※令和2年4月から令和3年3月まで

記入者氏名(管理者)	中山 恵美
------------	-------

事業所名	グループホーム みやび		法人名	株式会社いまい		
事業者所在地	釧路市益浦3丁目21番3号		共同生活援助 定員	9人	短期入所 定員	1人
職員配置 (常勤換算)	管理者	サビ管	世話人	生活支援員	夜間体制	
	1人 (0.1人)	1人 (0.1人)	3人 (0.3人)	3人 (2.5人)	1人 (0.1人)	

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
1. 常時の支援体制について		
① 日中活動サービス等を利用できない障がい者への日中支援は、利用者の意向にそっているか	○日中活動サービスの未利用人数： 1人 ※別紙1②転記 支援内容等 日中支援は食事の提供・居室の清掃・入浴の準備・見守り・介助を行っている本人の希望で天気の良い日は体調を確認し散歩をしたり買い物同行や代行、通院の同行支援を実施しています。GH内でも余暇活動を行えるような支援をしている。	
② 日中活動サービス等の利用が制限されていないか	○日中活動サービスの利用人数： 4人 ※別紙1①転記 事業所の方針 本人の希望のもとに相談支援専門員から日中活動サービスの変更連絡があった際などは、関係者へ本人の状態について情報提供を行ったり、サービス担当者会議でも日中活動サービスの利用方向に変化がないか随時確認している。	
③ 夜間の支援体制が確保されているか	支援内容等 夜勤者を1名配置し就寝薬の服薬確認、声掛け、介助。24時に巡回・不眠時などコールの対応をしています。緊急時には看護師や医療機関と連携体制を確保しており医療との連携をしている。	
2. 短期入所について		
地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊のニーズに対応しているか	○短期入所の利用実人数： 0人 ○短期入所の延べ稼働数： 0人 ○短期入所の実人数当たりの平均利用日数： #VALUE! 緊急受入事例	
3. 特定相談支援事業所等との連携について		
① 特定相談支援事業を行う事業所は他事業者であるか	○同事業者の特定相談支援利用者数： 2人 ※別紙1③転記 ○他事業者の特定相談支援利用者数： 3人 ※別紙1④転記	
② 特定相談支援事業所等と緊密な連携を図っているか	連携方法 本人の希望に沿った支援を行えるようにサービス等利用計画書と個別支援計画に沿って相談支援専門員と利用状況や健康状態などを密に連絡を取り合い情報の共有をする。	

事業所名	グループホーム みやび
------	-------------

評価の視点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【協議会の意見】
4. 支援の実施について		
① 利用者の家族や地域住民との交流の機会が確保されているか	<p>○家族との交流機会： 月1回程度実施</p> <p>○地域住民との交流機会： 年2回程度実施</p> <p>交流内容等 家族との交流に関しては、定期的に様子確認、差し入れや外泊、外出などをして頂いています。地域交流はコロナが流行っているため現在は控えています。</p>	
② 利用者が充実した地域生活を送るために、外出や余暇活動等の支援に努めているか	<p>○全体のレクリエーション： 年5回程度実施</p> <p>○個別のレクリエーション： 年12回程度実施</p> <p>支援内容等 全体レクはホーム内で誕生会を行った。個別レクは利用者の希望のもと買い物、散歩などの外出支援を行った。</p>	
③ 研修等により、支援の質の確保に努めているか	<p>○実施した研修等の例</p> <p>① 入浴介助について R03.01.10 実施 4名参加 講師： 中山 恵美 内容： 車椅子での入浴介助、歩行器使用時の介助、見守り支援時の注意事項など1つずつ確認しながら個々の利用者にあった支援方法を職員をモデルにして模擬実践を行った。</p> <p>② 身体介助について R03.01.15 実施 3名参加 講師： 中山 恵美 内容： 移乗介助・トイレ介助・更衣着脱介助の方法や流れを説明し職員同士で模擬実践を行いながら改善ポイントを探し介助及び支援の質の向上を目指す研修を行った。</p> <p>研修後の取組 利用者の要望を聞きながら、利用者が安心して安全に入浴や移乗をできるように支援を行っている。</p>	
5. その他		
特別に記載することがあればご記入ください		
6. 自立支援協議会からの要望、助言に対する取り組み		
自立支援協議会からの要望、助言に誠実に取り組んでいるか	取り組み方法、取り組み結果については、別紙2のとおり	

# 別紙1 利用者の状況

事業所名 グループホーム みやび

令和3年3月31日 現在

No.	性別	年代	支給 決定 市町村	障害種別・等級			障害 支援 区分	車椅子 利用	特別 な 対応	対応の詳細、 頻度等	利用中の日中 活動サービス	月平均 利用日数	特定相談支援事業所名	
				身体手帳	精神 手帳	療育 手帳					事業所名			
1	女	60代	釧路市	1種 1級			区分4	有		生活介護 えーる	2日/月	相談 いまい		
2	女	50代	釧路市			B	区分3			利用なし		相談 ハート釧路		
3	女	40代	その他	2種 3級			区分6	有	有	生活介護 えーる	20日/月	相談 ウルカス		
4	女	40代	釧路市	2種 3級		B	区分5		有	歩行器使用	就労B型 ぶるうむ	20日/月	自立センター	
5	女	10代	釧路市			A	区分4		有	一部手話	生活介護 SAKURA	20日/月	自立センター	
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														
(特記事項)											①日中サービス 利用者	計4人	③同事業者	計2人
											②日中サービス 未利用者	計1人	④他事業者	計3人